平成28年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年７月31日

上場会社名　株式会社ＵＡＣＪ　上場取引所　東
コード番号　5741　ＵＲＬ　http://www.uacj.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）岡田　満
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　（氏名）飯田　晴央　ＴＥＬ　(03)6202-2600(代)
四半期報告書提出予定日　平成27年８月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円単位未満四捨五入）

１．平成28年３月期第１四半期の連結業績（平成27年４月１日～平成27年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年３月期第１四半期	147,013	4.7	4,638	△29.4	3,709	△40.8	2,323	△36.6
27年３月期第１四半期	140,385	200.0	6,569	130.0	6,263	107.5	3,665	－

（注）包括利益　28年３月期第１四半期　2,309百万円（△21.8%）　27年３月期第１四半期　2,953百万円（23.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年３月期第１四半期	5.43	－
27年３月期第１四半期	8.56	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年３月期第１四半期	686,648	187,946	25.2	404.09
27年３月期	677,952	187,136	25.4	402.78

（参考）自己資本　28年３月期第１四半期　172,851百万円　27年３月期　172,305百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年３月期	－	3.00	－	3.00	6.00
28年３月期	－				
28年３月期（予想）		3.00	－	3.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	290,000	3.4	7,000	△46.4	5,000	△57.3	3,000	△46.1	7.01
通期	610,000	6.5	17,000	△28.2	13,000	△39.1	6,000	△30.6	14.03

（注１）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
（注２）詳細につきましては、本日（平成27年７月31日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料Ｐ３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年３月期１Ｑ	428,281,934株	27年３月期	428,281,934株
②　期末自己株式数	28年３月期１Ｑ	525,556株	27年３月期	486,942株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年３月期１Ｑ	427,771,993株	27年３月期１Ｑ	428,008,362株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間の我が国経済については、個人消費の緩やかな回復や、設備投資の底堅い推移等に牽引され、景気は緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、前期実質ＧＤＰが年率３．９％の高成長だった反動も有り、一部最終製品在庫の積み上がりや米国や中国での設備投資減速等を背景とした輸出の鈍化の傾向が観察されます。

アルミニウム圧延品業界の需要については、上記経済環境に加えて、自動車の国内生産台数の減少や、建築関連需要の不振により、コーヒー缶のアルミ化が進展した食料品分野以外、ほぼ全ての需要分野で、前年同期を下回る水準となりました。

このような環境のもと、当社グループの業績につきましては、販売量は低調に推移したものの、前下期以降上昇が続いていた地金価格の影響を受け、売上高は147,013百万円（前年同期比4.7%増）となりました。損益については、当期の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化やタイ王国における板圧延工場の立ち上げコスト増加等の影響により、営業利益は4,638百万円（同29.4%減）、経常利益は3,709百万円（同40.8%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前期に発生したTri-Arrows Aluminum Inc.の製造委託先であるLogan Aluminum Inc.での設備故障による損失に対する受取保険金を特別利益として計上したものの、2,323百万円（同36.6%減）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

当社グループの売上数量は、ＬＮＧ船用や半導体・液晶製造装置用が好調であった厚板、アルミ採用車種が増加した自動車外板等で前年同期を超える販売を記録致しましたが、自動車の国内生産台数減の影響を直接受けた自動車熱交換器用材、回復が遅れている建築関連や店売り用等で前年同期を下回り、全体としても前年同期比マイナスの結果となりました。このような販売状況であったものの、前年同期比での地金価格上昇の影響を受け、当期のアルミ圧延品事業の売上高は118,578百万円（前年同期比6.9%増）となりました。営業利益については、当期の急激な地金価格下落に伴う棚卸評価関係による悪化やタイ王国における板圧延工場立ち上げコスト増加等の影響により、5,794百万円（同17.8%減）となりました。

伸銅品事業

伸銅業界においては、業務用エアコン出荷台数が前年同期比△９%、家庭用エアコンが前年同期比△４%といずれも低調に推移した結果、当事業の主力である空調用銅管もこの影響を受け、当期の伸銅品事業の売上高は12,746百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益は292百万円（同36.8%減）となりました。

加工品・関連事業

産業用機器、一般工業品等の販売が低調に推移したこと等により、売上高39,944百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益800百万円（同8.9%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べて810百万円増加し、187,946百万円となりました。

総資産については、棚卸資産の増加やタイ王国における板圧延工場建設の設備投資により、前連結会計年度末と比べて8,695百万円増加し、686,648百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期累計期間の実績を踏まえ、第２四半期累計期間及び通期の連結業績が当初の想定を下回る見通しとなったことから、平成27年５月11日に公表いたしました第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。

第２四半期累計期間につきましては、売上高は2,900億円（前年同期比3.4％増）、営業利益は70億円（同46.4％減）、経常利益は50億円（同57.3％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億円（同46.1％減）を見込んでおります。

また、通期の連結業績予想につきましては、売上高は6,100億円（前期比6.5％増）、営業利益は170億円（同28.2％減）、経常利益は130億円（同39.1％減）、親会社株主に帰属する当期純利益は60億円（同30.6％減）を見込んでおります。

詳細につきましては、本日（平成27年７月31日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

重要な子会社の異動はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第１四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第１四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組換えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－２項(4)、連結会計基準第44－５項(4)及び事業分離等会計基準第57－４項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第１四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用）

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号　平成27年３月26日）を当第１四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社Tri-Arrows Aluminum Inc.が平成26年１月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無形資産－のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償却期間に基づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成27年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,069	31,596
受取手形及び売掛金	108,550	96,988
商品及び製品	32,672	33,820
仕掛品	45,225	52,266
原材料及び貯蔵品	39,842	40,445
その他	22,565	22,393
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	269,889	277,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,729	64,021
機械装置及び運搬具（純額）	62,421	67,271
土地	115,711	115,677
その他（純額）	57,512	47,985
有形固定資産合計	292,374	294,954
無形固定資産		
のれん	46,503	46,083
その他	19,369	19,446
無形固定資産合計	65,871	65,529
投資その他の資産		
投資有価証券	32,804	32,635
その他	17,087	16,133
貸倒引当金	△73	△79
投資その他の資産合計	49,818	48,689
固定資産合計	408,063	409,172
資産合計	677,952	686,648

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成27年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,114	118,545
短期借入金	80,100	56,136
コマーシャル・ペーパー	6,000	12,998
1年内償還予定の社債	2,606	2,594
1年内返済予定の長期借入金	47,074	47,424
未払法人税等	1,930	668
災害損失引当金	291	100
その他	39,769	40,690
流動負債合計	287,884	279,156
固定負債		
社債	7,538	6,257
長期借入金	152,636	170,631
事業構造改善引当金	1,180	1,173
退職給付に係る負債	21,358	21,088
その他	20,221	20,396
固定負債合計	202,932	219,545
負債合計	490,816	498,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	72,901	72,901
利益剰余金	33,564	34,604
自己株式	△178	△191
株主資本合計	151,287	152,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,026	2,279
繰延ヘッジ損益	△69	△847
為替換算調整勘定	18,055	18,054
退職給付に係る調整累計額	1,006	1,051
その他の包括利益累計額合計	21,018	20,537
非支配株主持分	14,831	15,095
純資産合計	187,136	187,946
負債純資産合計	677,952	686,648

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）
売上高	140,385	147,013
売上原価	121,512	129,342
売上総利益	18,873	17,671
販売費及び一般管理費	12,304	13,033
営業利益	6,569	4,638
営業外収益		
受取配当金	216	211
その他	556	459
営業外収益合計	773	671
営業外費用		
支払利息	828	829
為替差損	―	370
その他	252	400
営業外費用合計	1,079	1,599
経常利益	6,263	3,709
特別利益		
受取保険金	―	1,214
その他	12	5
特別利益合計	12	1,219
特別損失		
固定資産除却損	91	112
減損損失	111	―
その他	17	9
特別損失合計	220	121
税金等調整前四半期純利益	6,055	4,806
法人税、住民税及び事業税	1,265	832
法人税等調整額	828	1,430
法人税等合計	2,093	2,262
四半期純利益	3,962	2,544
非支配株主に帰属する四半期純利益	298	221
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,665	2,323

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）
四半期純利益	3,962	2,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	252
繰延ヘッジ損益	101	△765
為替換算調整勘定	△1,123	413
退職給付に係る調整額	84	54
持分法適用会社に対する持分相当額	△276	△188
その他の包括利益合計	△1,009	△235
四半期包括利益	2,953	2,309
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,835	1,849
非支配株主に係る四半期包括利益	118	460

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アルミ圧延品事業	伸銅品事業	加工品・関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	97,481	9,993	32,911	140,385	－	140,385
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,421	3,335	7,144	23,900	△23,900	－
計	110,902	13,328	40,055	164,285	△23,900	140,385
セグメント利益	7,050	462	878	8,391	△1,821	6,569

（注）１．セグメント利益の調整額△1,821百万円には、たな卸資産の調整額△193百万円、セグメント間取引消去△85百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,544百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	アルミ圧延品事業	伸銅品事業	加工品・関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	105,160	9,436	32,416	147,013	－	147,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,418	3,310	7,528	24,256	△24,256	－
計	118,578	12,746	39,944	171,268	△24,256	147,013
セグメント利益	5,794	292	800	6,886	△2,248	4,638

（注）１．セグメント利益の調整額△2,248百万円には、たな卸資産の調整額△122百万円、セグメント間取引消去△83百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,043百万円が含まれております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。